令和４年度

工　学　部

〔総合型選抜Ⅱ〕

学　生　募　集　要　項

今後の新型コロナウイルス感染症の感染状況によっては、募集要項に記載されている日程や選抜方法等とは異なる方法で実施することがあります。

公表した内容から変更があった場合は、本学ホームページ（https://www.yamanashi.ac.jp/admission/291）に変更後の募集要項を掲載しますので、随時確認してください。

なお、状況によっては、変更後の内容がさらに変更となる場合もあります。

UNIVERSITY
OF
YAMANASHI

山梨大学

(https://www.yamanashi.ac.jp)

目　次

1　アドミッションポリシー…… 1
2　試験実施等の日程…… 6

募集要項

1　学科別募集人員…… 7
2　出願資格…… 7
3　出願手続…… 10
4　受験上及び修学上の配慮を必要とする入学志願者との事前相談…… 13
5　受験票の発送…… 13
6　選抜方法…… 14
7　選抜の期日及び場所…… 16
8　不正行為等に対する措置…… 18
9　合格者の発表等…… 18
10　一般選抜への出願…… 19
11　入学手続…… 19
12　授業料…… 19
13　その他の経費…… 20
14　留意事項…… 20
15　個人情報の取扱いについて…… 20

大学・学部・学科等紹介…… 21
Web 出願利用ガイド

○本学所定の様式（参考掲載）

様式１：多面的・総合的な評価のための申告書
様式２：志願者評価書
様式３：面接用事前レポート

《問い合わせ先》
山梨大学教学支援部入試課
〒400-8510　甲府市武田４丁目４-37
電話：055-220-8046
平日（月～金）８時30分～17時
（ただし、休日、祝日、夏季一斉休業（８/13～８/17）及び年末年始（12/29～1/3）を除く。）

１．アドミッションポリシー

≪山梨大学が求める人物像≫

山梨大学は、「地域の中核、世界の人材」の標語の下、地域の知の拠点として、専門性をもって世界で活躍できる人を育てることを目指しています。これを実現するため、学部・学科などの教育プログラムには、その修了に必要な教養、汎用能力、専門能力をすべて身につけられるカリキュラムが編成されています。本学では、これらのカリキュラムを知的好奇心をもって継続的・主体的に修得して卒業し、専門分野に関する高度な能力を通じて社会に貢献する志をもつとともに、入学時において以下のような基礎的な資質能力を有する人を求めます。

≪入学者に求める資質能力*≫

高等学校で履修する、国語、地理歴史、公民、数学、理科、外国語等について、内容を理解し、高校卒業程度の知識を有している人その他、各教育プログラムの学修に必要な資質能力（思考力・判断力・表現力など）を有する人

＊ここでは入学試験で評価できる項目のみが挙げられており、順法の精神など、社会通念上大学生が当然備えているべき項目までは記載していません。

【工学部】

育成目標【未来世代を思いやるエンジニアリング教育】

本学の入学者受け入れ方針に加え、基礎的・専門的学力、論理的な表現力やコミュニケーション能力を修得するとともに、工学技術が社会や自然に及ぼす影響や効果、及び技術者が社会に負っている責任を理解し、科学的知見と技術を総合して社会的課題を解決する能力、すなわちエンジニアリングデザイン能力を身につけたグローバルに活躍できる人材の養成を目指しています。

求める資質・能力・人物像

工学部では、工学系技術者となって社会に貢献しようとする意欲をもつ、次のような人を求めています。

・４年間学び抜くことができる学力と強い意志を有していること
・各学科で学ぶ内容に強い興味と適性を有していること
・学科別に提示する数学、理科の基礎力を有していること
・国語、地歴公民など高校で履修する幅広い科目により人間や社会に関する基礎的な知識や興味を有すること
・書かれた文章を理解し、利用できること。また、学んだことや自らの考えを論理的な文章で表現できること
・国際的なコミュニケーション能力の基本として基礎的な英語の語学力を有し、入学後も積極的に学ぶ意欲を有すること
・実験や観察の計画や実行に積極的に取り組んだ経験があること

〇機械工学科

＜育成目標と求める能力・人物像＞

人間と機械との結びつきを理解し、自然保護と社会の繁栄さらに人類の幸福に貢献できる技術者の育成を目指しています。具体的には数学・物理などの数理知識を自動車・航空・宇宙産業や医工学分野さらに動力エネルギー分野などへと応用する技術を習得します。

そのために次のような人を求めています。

・数学・理科・英語の基礎学力があり、なおかつ学習意欲がある人。理科の中では特に物理を重視します。
・実験などを通して身の周りの自然現象の観察に興味のある人
・人と機械とが関わるものづくりに興味のある人
・独創的な発想で機械の技術革新をしようとする人

＜入学前に学習しておくことが期待される内容＞

高等学校で履修した科目、とりわけ数学、物理、英語をしっかりと理解していることが必要です。機械工学は物理を基礎として、また数学を駆使して構築されている工学分野です。数学、物理の本質を理解するとともに、また、国際的に活躍できる人材となるために不可欠な英語の素養も身につけてくることを期待しています。

＜入学者選抜の基本方針＞

総合型選抜Ⅱ

本選抜では、出願書類と面接により第１段階選抜を実施し、最終選抜には大学入学共通テストを用います。

「調査書」については、各教科・科目等の学習の記録の中で、特に数学・理科・英語の基礎学力の定着の度合いを評価し、指導上参考となる諸事項に記載された学科への関連の内容を参考とします。「多面的・総合的な評価のための申告書」はアドミッションポリシーを理解し、大学で学びたいことや将来への展望が明確であるか等を評価します。これらの出願書類は面接用事前レポートと同様に面接の際の基礎資料として用います。学力評価として、大学入学共通テスト（５教科７科目）を課します。

〇メカトロニクス工学科

＜育成目標と求める能力・人物像＞

産業・民生用ロボットなど近年の電子機械製品は機械・電気・情報の３分野の技術の融合体であり、いずれの技術が欠けても成り立ちません。本学科では、これら３分野にまたがる知識や技術を利用して、社会で求められている電子機械製品の開発などの実践的な課題を解決できる技術者の育成を目指しています。そのために、次のような人を求めています。

・コンピュータで制御された電子機械製品の研究や開発をはじめとした幅広い分野に興味を持ち、社会で求められている技術や製品の実現に意欲を持っている人。
・数学、理科、英語の基礎学力があり、なおかつ学習意欲がある人。理科のなかでは特に物理を重視します。

＜入学前に学習しておくことが期待される内容＞

高等学校で学ぶ数学、理科、英語、国語、地歴公民の内容を十分理解していることが必要です。またメカトロニクス工学科は、電気・情報・機械の幅広い分野に関連しています。従って、分野を問わず最先端技術に興味を持つと共に、その基礎となる物理、数学などの本質を理解するようにしてください。

＜入学者選抜の基本方針＞

総合型選抜Ⅱ

本選抜では、出願書類と面接、小論文により第１段階選抜を実施し、最終選抜には大学入学共通テストを用います。

「調査書」については、各教科・科目等の学習の記録の中で、主に数学・理科・英語の基礎学力の定着の度合いを評価し、指導上参考となる諸事項に記載された学科への関連の内容を参考とします。「多面的・総合的な評価のための申告書」については、アドミッションポリシーで示した育成目標に必要な能力・資質を判断し、「志願者評価書」における学力の３要素も加味して総合的に判断します。学力評価として、大学入学共通テスト（５教科７科目）を課します。

〇電気電子工学科

＜育成目標と求める能力・人物像＞

電気電子工学は材料・素子から、素子を組み合わせた回路、複数の回路を結合した装置、装置やソフトウェアを統合したシステムに至るまで、様々な対象を取り扱う幅広い学問分野であり、その成果はほぼ全ての社会基盤に必要とされています。本学科は、電気電子工学を駆使して社会で活躍する技術者、研究者の育成を目指しています。そのために、次のような人を求めています。

・電気電子工学に強い興味と関心を持ち、将来は、太陽光発電を含む発送電システム、スマートフォンなどのICT機器・通信システム、医療機器、自動運転車や電気自動車などの交通システム、鉄道などの社会インフラ、またこれら全てを支える大規模集積回路の研究、設計、整備、運用など、様々な分野と立場で活躍する意欲をもつ人

・数学、理科、英語の基礎学力があり、さらに深く学ぶ意欲がある人。理科のなかでは特に物理を重視します。

＜入学前に学習しておくことが期待される内容＞

高等学校で履修した数学、理科、英語、国語、地歴公民で学習した内容がしっかり理解できていることを望んでいます。特に、物理と数学の本質を理解するとともに、電気、磁気、光、電子に関する物理現象に興味を持って勉強してきてください。

＜入学者選抜の基本方針＞

総合型選抜Ⅱ

本選抜では、出願書類と面接、小論文により第１段階選抜を実施し、最終選抜には大学入学共通テストを用います。

「調査書」については、各教科・科目等の学習の記録の中で、特に数学・理科（特に物理）・英語の基礎学力の定着の度合いを評価し、指導上参考となる諸事項に記載された学科への関連の内容を参考とします。「多面的・総合的な評価のための申告書」はアドミッションポリシーを理解し、大学で学びたいことや将来への展望が明確であるか等を評価し、面接の際の資料としても用います。小論文と面接では、数学と物理の基礎学力、論理的な説明力を評価します。学力評価として、大学入学共通テスト（４教科６科目）を課します。

〇コンピュータ理工学科

＜育成目標と求める能力・人物像＞

コンピュータ理工学を学んだ技術者は、スマートフォンなどの情報機器やネットワークシステム、ソフトウェアの開発・運用管理、情報通信系のサービス、自動車や電機などの製造業などで活躍しています。また、人工知能技術を駆使したデータ解析の技術者は、いまや情報分野に限らず幅広い分野で必要不可欠な人材です。本学科は、そのような幅広い分野で活躍できる技術者、研究者の育成を目指しています。そのために、次のような人を求めています。

・情報科学技術や大規模ソフトウェアの設計開発、ものづくりに対する強い好奇心をもち、将来、専門知識・技術を備えた情報処理技術者・研究者になりグローバルに活躍することを目指している人
・数学、理科、国語及び英語の基礎的な学力を有する人

＜入学前に学習しておくことが期待される内容＞

高等学校で学ぶ数学、理科、英語、国語、地歴公民の内容を十分に理解していることが必要です。コンピュータ理工学は、情報化社会の基盤と密接に関連しています。したがって、情報システムや機器の設計・解析手法を学ぶための理工系の素養の他に、国内外の文化や慣習、社会情勢などに対する知識や理解とともに日本語や英語によるコミュニケーション能力を備えていることを期待しています。

＜入学者選抜の基本方針＞

総合型選抜Ⅱ

本選抜では、出願書類により第１段階選抜を実施し、最終選抜には大学入学共通テストを用います。

「調査書」については、基礎的学力を備えているかを判定するとともに、課外活動や取得した資格等により向上心や主体性などを評価します。「多面的・総合的な評価のための申告書」では、本学のアドミッションポリシーへの理解、向上心や主体性、協働性などを重視するとともに、本学科で学ぶ意欲や、将来への展望が明確であるかを確認します。学力評価として、大学入学共通テスト（教科・科目数は型により異なる）を課します。

〇土木環境工学科

＜育成目標と求める能力・人物像＞

土木環境工学系の技術者は、国土交通省をはじめとする国家公務員、都道府県、市町村の地方公務員、総合建設業の技術者、設計コンサルタントとして、社会資本の整備や維持管理に携わっています。また、同技術者には道路、運輸等の公共企業、電力、ガス、通信等の公益企業、環境衛生エンジニアリング、住宅建設と、幅広い活躍の場があります。本学科では、このような分野で活躍する「土木工学と環境工学に関する幅広い基礎知識・技術を併せ持ち、持続可能な社会の構築に意欲的に貢献できる技術者」の育成を目指しています。そのために、以下のような人を求めています。

・自然環境と調和した社会基盤整備の知識・技術を修得し、災害に強く、環境に配慮した安全で快適な地域づくり・まちづくりに携わりたい人
・防災・減災、都市環境、社会資本の維持管理など、土木環境工学の最先端について学びたいという意思のある人

＜入学前に学習しておくことが期待される内容＞

高等学校で学ぶ数学、理科、英語、国語、地歴公民の内容を十分に理解していることが必要です。土木環境工学は自然や社会との接点が大きい分野です。解析や設計に直接通じる数学や物理の学力だけでなく理科全般の素養と、自分の言葉で社会とコミュニケーションするために、国語、英語、地歴公民の素養を身につけていることを期待しています。

＜入学者選抜の基本方針＞

総合型選抜Ⅱ

本選抜では、出願書類と面接、小論文により第１段階選抜を実施し、最終選抜には第１段階選抜の成績に加え大学入学共通テストを用います。

「調査書」については、各教科・科目等の学習の記録において、バランスの良い基礎学力の定着の

度合いを評価し、指導上参考となる諸事項において、学科への関連の内容の記載を参考とします。「多面的・総合的な評価のための申告書」はアドミッションポリシーを理解し、学科で学びたいことや、将来への展望が明確であるか等を確認するための参考資料として利用し、「志願者評価書」はこれを補完するものとして活用します。これら出願書類は面接の資料としても用います。小論文は講義を受講し、その内容について設問に解答する方式で実施します。学力評価として、大学入学共通テスト（５教科７科目）を課します。

〇応用化学科

＜育成目標と求める能力・人物像＞

応用化学を学修した卒業生は、材料・化学メーカー、エネルギー関連、電気・電子、機械、自動車、製薬、食品、化粧品、装置製造産業、環境分析など様々な分野における新規材料開発および計測などに携わることができます。本学科では、化学の専門知識と実験技術を修得し、新素材・エネルギー・環境等の課題を解決できる技術者・研究者の育成を目指しています。そのために、次のような人を求めています。

・化学に対する強い好奇心をもち、新素材・高機能物質の開発やエネルギー・環境等の問題解決に意欲のある人
・化学、物理、数学、英語の基礎的な学力を有する人

＜入学前に学習しておくことが期待される内容＞

高等学校で学ぶ数学、理科、英語、国語、地歴公民の内容を十分に理解しておくことが必要です。化学はもちろんのこと、数学や物理の基礎学力は実験結果の解析に必要となります。また、外国の専門誌を読んだり、レポートを作成したりするためには、英語や国語の力が必要です。化学だけでなく化学以外の科目やそれらと化学との境界領域にも興味をもって勉強しておくことを期待します。

＜入学者選抜の基本方針＞

総合型選抜Ⅱ

本選抜では、「調査書」と面接により第１段階選抜を実施し、最終選抜には大学入学共通テストと「多面的・総合的な評価のための申告書」を用います。

「調査書」では、本学科における修学が可能な基礎学力を備えるかを評価すると同時に面接の資料とします。「多面的・総合的な評価のための申告書」では、化学に関する知識と技術を生かして社会に貢献しようとする意欲を持ち、本学科の教育課程を履修できる学習習慣を備えるかを評価します。学力評価として大学入学共通テスト（３教科５科目のうち「化学」ほか２科目）を課します。

〇先端材料理工学科

＜育成目標と求める能力・人物像＞

材料科学は、原子・分子レベルの操作で新材料を創り、新たな機能を生み出すことを目的とした学問であり、科学技術、社会が変化しても持続的な就業能力を持った人材の育成を目指しています。そのために次のような人を求めています。

・物理と化学の知識を合わせ持ち、原子・分子レベルの操作で先端材料を作り、新機能を生み出すことによって新しい社会を築いていこうとする意欲ある人
・数学・理科に関する諸々の話題、疑問点を追究する強い好奇心を持ち、それを生かした社会貢献に意欲的な人

＜入学前に学習しておくことが期待される内容＞

高等学校で学ぶ数学そして物理と化学を理解していること、それ以前にそれらが好きであることが重要です。研究論文や技術報告書を読む、あるいは自ら執筆するためには英語や国語の力、特に論理を組み立てていく能力も必要です。入学時にこれらをすべて備えていることを必ずしも要求しませんが、将来の自分のために投資しておくという基本的学習習慣だけは必ず身につけておくことを期待します。

＜入学者選抜の基本方針＞

総合型選抜Ⅱ

本選抜では、出願書類と面接、小論文により第１段階選抜を実施し、最終選抜には大学入学共通テストを用います。

「調査書」では、高校での学習状況と面接等の結果の整合性を確認します。「多面的・総合的な評価のための申告書」では、学習意欲等の学力試験によって測ることができない能力や態度を評価し、「志願者評価書」でその内容との整合性および本学進学に対する意志を確認します。学力評価として大学入学共通テスト（５教科７科目）を課すことに加え、数学・物理・化学・英語に関する課題が与えられ小論文と面接発表資料を作成し、面接発表(プレゼンテーションと質疑応答)による評価を行います。面接発表では志望動機・学習意欲及び適性等を総合的に評価します。

２．試験実施等の日程

内　　容	日　　程
出願期間 「出願情報の登録」、「入学検定料の支払い」、 「出願書類の印刷・作成・提出」	令和３年11月１日(月）～11月10日(水)
第１段階選抜	令和３年11月20日(土)
第１段階選抜結果発表	令和３年11月29日(月)
最終選抜（合格者発表）	令和４年２月15日(火)
入学手続期間	令和４年２月16日(水）～２月21日(月)

募 集 要 項

1　学科別募集人員

学　　科	募集人員	備　　考
機　械　工　学　科	17 人	出願できるのは１学科のみです。
メカトロニクス工学科	17 人	
電　気　電　子　工　学　科	17 人	
コンピュータ理工学科	12 人	
土　木　環　境　工　学　科	17 人	
応　用　化　学　科	12 人	
先　端　材　料　理　工　学　科	11 人	
計	103 人	

2　出願資格

次の（1）～（5）の条件を全て満たしている方とします。

（1）高等学校（中等教育学校の後期課程を含む。以下同じ）を令和２年４月から令和４年３月までに卒業した方又は卒業見込みの方

（2）令和４年度大学入学共通テストのうち各学科が指定した教科・科目を受験する方

（3）学業成績に対する条件

機械工学科、メカトロニクス工学科、電気電子工学科、コンピュータ理工学科、土木環境工学科、先端材料理工学科については、高等学校の学業成績が優秀で、調査書の全体の学習成績の状況が 3.8 以上、若しくは数学の学習成績の状況が 4.0 以上である方

応用化学科については、在籍する（した）高等学校等から調査書が提出できる方

（4）本学部の学生となるのに十分な適性と強い勉学意欲を持った方

ただし、高等学校の普通科を卒業又は同学科に在籍している志願者については、別表（P10）に示す〇印を付した科目を履修していることが望ましい。

また、高等学校の専門教育を主とする学科あるいは総合学科を卒業又は同学科に在籍している志願者については、志望学科ごとに別表に示す〇印を付した科目に関係が深い科目を履修していることが望ましい。

（5）合格した場合は、入学することを確約できる方

総合型選抜Ⅱに課される大学入学共通テストの利用教科・科目等

学科	教科	科目数	科目の指定
機械工学科	国	1	国
	地歴 公民	1	世A、世B、日A、日B、地理A、地理B、現社、倫、政経、倫・政経の10科目のうちから1科目選択
	数	2	数Ⅰ・数A、数Ⅱ・数B
	理	2	物、化
	外	1	英

学科	教科	科目数	科目の指定
メカトロニクス工学科	国	1	国
	地歴 公民	1	世A、世B、日A、日B、地理A、地理B、現社、倫、政経、倫・政経の10科目のうちから1科目選択
	数	2	数Ⅰ・数A、数Ⅱ・数B
	理	2	物、化
	外	1	英、独、仏、中、韓の5科目のうちから1科目選択

学科	教科	科目数	科目の指定
電気電子工学科	国	1	国
	地歴 公民	–	–
	数	2	数Ⅰ・数A、数Ⅱ・数B
	理	2	物、化
	外	1	英

学科	教科	科目数	科目の指定
土木環境工学科	国	1	国
	地歴 公民	1	世A、世B、日A、日B、地理A、地理B、現社、倫、政経、倫・政経の10科目のうちから1科目選択
	数	2	数Ⅰ・数A、数Ⅱ・数B
	理	2	物、化
	外	1	英、独、仏、中、韓の5科目のうちから1科目選択

学科	教科	科目数	科目の指定
応用化学科	国	–	–
	地歴 公民	–	–
	理	1	化
		2 ※	物
	数		数Ⅰ・数A、数Ⅱ・数B
	外		英

※「数学Ⅰ・数学A」、「数学Ⅱ・数学B」、「物理」、「英語」の4科目から、受験した科目のうち得点の高い2科目を大学側で採用します（志願者の選択は要しません）。

学科	教科	科目数	科目の指定
先端材料理工学科	国	1	国
	地歴 公民	1	世A、世B、日A、日B、地理A、地理B、現社、倫、政経、倫・政経の10科目のうちから1科目選択
	数	2	数Ⅰ・数A、数Ⅱ・数B
	理	2	物、化
	外	1	英、独、仏、中、韓の5科目のうちから1科目選択

コンピュータ理工学科については、以下に示す４つの型のうち、少なくとも１つの型に合致する科目を受験する必要があります。ただし、志願者が型を選ぶことはなく、大学入学共通テストで型に合致する科目を受験することで、該当する型の選抜対象となります。複数の型の選抜対象となり得ます。

≪数学重視型≫

学科	教科	科目数	科目の指定
コンピュータ理工学科	国	－	－
	地歴	－	－
	公民		
	数	2	数Ⅰ・数A、数Ⅱ・数B
	理	－	－
	外	－	－

≪理科重視型≫

学科	教科	科目数	科目の指定
コンピュータ理工学科	国	－	－
	地歴	－	－
	公民		
	数	－	－
	理	2	物、化、生のうちから２科目
	外	－	－

≪英数理バランス型≫

学科	教科	科目数	科目の指定
コンピュータ理工学科	国	－	－
	地歴	－	－
	公民		
	数	2	数Ⅰ・数A、数Ⅱ・数B
	理	2	物、化、生のうちから２科目
	外	1	英

≪言語力重視型≫

学科	教科	科目数	科目の指定
コンピュータ理工学科	国	1	国
	地歴	－	－
	公民		
	数	2	数Ⅰ・数A、数Ⅱ・数B
	理	－	－
	外	1	英

※大学入学共通テストの出題教科・科目名は、次のように略しています。

教科	表記	科目	表記
国語	国	国語	国
地理歴史	地歴	世界史A	世A
		世界史B	世B
		日本史A	日A
		日本史B	日B
		地理A	地理A
		地理B	地理B
公民	公民	現代社会	現社
		倫理	倫
		政治・経済	政経
		倫理、政治・経済	倫・政経
数学	数	数学Ⅰ	数Ⅰ
		数学Ⅰ・数学A	数Ⅰ・数A
		数学Ⅱ	数Ⅱ
		数学Ⅱ・数学B	数Ⅱ・数B
		簿記・会計	簿
		情報関連基礎	情報
理科	理	物理基礎	物基
		化学基礎	化基
		生物基礎	生基
		地学基礎	地基
		物理	物
		化学	化
		生物	生
		地学	地
外国語	外	英語	英
		ドイツ語	独
		フランス語	仏
		中国語	中
		韓国語	韓

別表 （出願資格（４）の履修していることが望ましい科目）

教科 / 科目 / 学科	数学		理科			
	数Ⅱ・数Ｂ	数Ⅲ	物理基礎	物理	化学基礎	化学
機械工学科	○	○	○	○		
メカトロニクス工学科	○	○	○	○		
電気電子工学科	○	○	○	○		
コンピュータ理工学科	○	○	○	○		
土木環境工学科	○	○	○	○	○	
応用化学科	○	○	○	○	○	○
先端材料理工学科	○	○	○	○	○	○

３　出願手続

（１）出願方法　※詳細は「Web 出願利用ガイド」を確認してください。

次の URL から Web 出願サイトにアクセスし、画面の案内に従って、出願情報等を登録してください。

Web 出願サイト　https://syutugan.yamanashi.ac.jp

①利用者情報・出願情報・顔写真の画像ファイルの登録
↓
②入学検定料の支払い
↓
③出願書類の印刷・作成・提出**【出願期間内必着】**

（２）入学検定料の支払い

入学検定料　17,000 円

・「検定料の支払い」画面で次の①～④の中から支払方法を選択してください。クレジットカード以外の支払方法は、入金が確認されるまで２時間程度かかる場合があります。
①クレジットカード②コンビニエンスストア③金融機関 ATM (Pay-easy) ④ネットバンキング
・全ての支払方法において、別途必要な手数料は志願者負担になります。
・<u>いかなる理由があっても、出願の受理後は、既納の入学検定料は返還できません。</u>

【入学検定料の免除について】

本学では、「東日本大震災」・「平成 28 年熊本地震」・「平成 30 年７月豪雨」・「平成 30 年北海道胆振東部地震」・「令和元年台風第 15 号及び第 19 号」及び令和２年４月以降に発生した災害により災害救助法の適用となる地域の被災者で、本学が実施する選抜試験を志願する方に対して、入学検定料免除の特別措置を行います。免除を希望される方は、出願期間前に教学支援部入試課へ照会してください。

免除申請書類等の詳細については、本学ホームページ（https://www.yamanashi.ac.jp/examination/3787）を確認してください。

（３）出願書類等

出願書類には、各自が準備する書類と Web 出願サイトから印刷して提出する書類があります。

提出書類	該当学科	作成者	摘　　要
調査書	全学科	高等学校長	文部科学省の所定の様式により作成し、これに高等学校長の職印及び記載責任者の印を必ず押印の上、厳封してください。
多面的・総合的な評価のための申告書	全学科	志願者	本学ホームページ※から【多面的・総合的な評価のための申告書（様式１）】をダウンロードし、記述要領に基づき作成してください。
志願者評価書	メカトロニクス工学科 土木環境工学科 先端材料理工学科	高等学校長	本学ホームページ※から【志願者評価書（様式２）】をダウンロードし、作成してください。これに高等学校長の職印を押印の上、厳封してください。
郵便切手貼付用紙（受験票送付用）	全学科	志願者	Web 出願サイトの「マイページ」の「出願書類印刷」から印刷した【郵便切手貼付用紙】に、344 円分の郵便切手（速達料含む）を剥がれないように貼り付けてください。 ※郵便切手は過不足なく用意してください。
住民票 **【国籍が日本国以外の方のみ】**	全学科	市区町村長	住居地の市区町村長が交付する住民票（在留資格及び在留期間が明記されたもの）を提出してください。

※様式１及び２は、出願期間前から次の URL よりダウンロードできます。
本学ホームページ ＞ 入試情報 ＞ 学部入試 ＞ 募集要項
https://www.yamanashi.ac.jp/admission/291

出願後に別途提出が必要な書類等（該当者のみ）

【第１段階選抜当日に持参】

提出書類	該当学科	作成者	摘　　要
面接用事前レポート	機械工学科	志願者	面接用事前レポートの課題と作成要領は、受験票発送時に同封します。レポートは、本学ホームページ※から【面接用事前レポート（様式３）】をダウンロードして作成してください。
プレゼンテーション資料	機械工学科	志願者	本学ホームページ※にある【面接の注意事項】に基づき、面接でのプレゼンテーション資料を電子ファイル又は紙媒体で作成してください（様式は任意）。

※様式３及び面接の注意事項は、出願期間前から以下の URL よりダウンロードできます。
本学ホームページ ＞ 入試情報 ＞ 学部入試 ＞ 募集要項
https://www.yamanashi.ac.jp/admission/291

【第１段階選抜合格者】

提出書類	該当学科	作成者	摘　　要
大学入学共通テスト成績請求票貼付用紙	全学科	志願者	第１段階選抜結果通知※に同封の案内に従って大学入試センター発行の「令和４共通テスト成績請求票 総合 国公立総合型選抜用」を提出してください。

※第１段階選抜結果の通知については本要項「９　合格者の発表等」を確認してください。

（４）出願期間

令和３年 11 月１日（月）～ 11 月 10 日（水）17 時まで　【出願期間内必着】

出願期間内に Web 出願サイトで「出願情報の登録」・「入学検定料の支払い」・「出願書類の印刷・作成・提出」の全てを完了してください。いずれか一つでも完了していない場合は、出願を受理することはできません。

（５）出願書類等の提出方法

① Web 出願サイトの「マイページ」の「出願書類印刷」から【出願書類等チェックリスト】（提出不要）を印刷し、出願書類が全て揃っているかを確認後、提出してください。

② Web 出願サイトの「マイページ」の「出願書類印刷」から印刷した【封筒貼付票】を各自で用意した市販の角形２号封筒（24 ㎝×33.2 ㎝）に貼ってください。

なお、高等学校で志願者が複数名いる場合は、志願者１名ごとに出願書類を封筒に封入し、それを取りまとめた別封筒の表に「工学部総合型選抜Ⅱ願書在中」と朱書きの上、簡易書留速達で郵送してください。その際、志願者氏名と志望学科を記載した志願者リスト（書式は任意）を添付してください。

③郵便局窓口から簡易書留速達で郵送してください。郵便事情を考慮し、必ず出願期間内に本学へ到着するように郵送してください。

郵送では間に合わない場合に限り、令和３年 11 月 10 日（水）９時から 12 時の間（時間厳守）に本学入試課窓口に持参してください。

（６）出願書類等の提出先・照会先

教学支援部入試課　　〒 400-8510 甲府市武田４丁目４-37

電話：055-220-8046

【出願書類の提出に際しての留意事項】

①登録した出願情報及び出願書類の内容に不備がある場合は、受理しないことがありますので十分注意してください。

②出願の受理後は、いかなる理由があっても、住所と連絡先を除き、登録した出願情報の内容の変更は認めません。また、出願書類の返却及び内容変更も認めません。

③登録した出願情報及び出願書類の内容が事実と相違していた場合は、入学後であっても入学を取り消すことがあります。

４　受験上及び修学上の配慮を必要とする入学志願者との事前相談

（１）相談の方法

病気やけが、障がい等のある入学志願者のうち、受験上及び修学上の配慮を必要とする方は、出願の前にあらかじめ教学支援部入試課に連絡の上、次の①から⑤の事項を記載した相談申請書（書式は任意）及び⑥を添付し、令和３年 10 月４日（月）までに教学支援部入試課へ提出してください。

日常生活において使用している補聴器、松葉杖、車椅子等も、受験上の配慮が必要となりますので、事前相談が必要です。相談の内容によっては対応に時間を要することもありますので、できるだけ早い時期に相談申請書を提出してください。

なお、必要に応じて、入学志願者又はその立場を代弁し得る高等学校関係者等との面談を行うことがあります。

①選抜試験名、志望学科、氏名、生年月日、出身学校
②受験上及び修学上の配慮を希望する事項・内容
③高等学校在学中にとられていた特別措置
④日常生活の状況
⑤連絡先（現住所、電話番号等）
⑥医師の診断書等、病気やけが、障がい等の状況がわかる文書又はそのコピー

（２）相談の期限以降に生じた不慮の事故等による場合

相談の期限以降に、不慮の事故等により受験上及び修学上の配慮が必要となった方は、教学支援部入試課に連絡してください。

（３）連絡先・提出先

山梨大学教学支援部入試課　　〒 400-8510　甲府市武田４丁目４-37
電話：055-220-8046

【留意事項】

①受験上の配慮を必要としない場合でも、修学上の配慮を必要とする方は必ず申し出てください。
②申請後に本学へ出願しないこととなった場合又は出願後に受験を取り止めた場合には必ず連絡してください。

５　受験票の発送

受験票は、出願期間最終日から約３日後に発送します。令和３年 11 月 17 日（水）までに届かない場合は、教学支援部入試課に照会してください。

６　選抜方法

学科によって小論文や面接、出願書類等による第１段階選抜を実施し、第１段階選抜合格者の中から、大学入学共通テストの点数（各学科で課される教科・科目はＰ８～９を参照）を考慮して最終合格者を決定します。また、小論文及び面接においては、数学・理科・外国語の素養に関する試問を含むこともあります。

機　械　工　学　科	出願書類と面接による第１段階選抜を実施し、第１段階選抜合格者の中から、大学入学共通テストの点数を考慮して最終合格者を決定します。
メカトロニクス工学科	出願書類・小論文・面接による第１段階選抜を実施し、第１段階選抜合格者の中から、大学入学共通テストの点数を考慮して最終合格者を決定します。
電 気 電 子 工 学 科	出願書類・小論文・面接による第１段階選抜を実施します。第１段階選抜合格者のうち、大学入学共通テストの点数が基礎学力判定基準を満たす者の中から、第１段階選抜の点数により最終合格者を決定します。
コンピュータ理工学科	第１段階選抜は出願書類によって適否を判断します。第１段階選抜合格者の中から、大学入学共通テストの点数により最終合格者を決定します。
土 木 環 境 工 学 科	出願書類・小論文・面接による第１段階選抜を実施し、第１段階選抜合格者の中から、大学入学共通テストの点数を考慮して最終合格者を決定します。
応　用　化　学　科	「調査書」と面接による第１段階選抜を実施し、第１段階選抜合格者の中から、大学入学共通テストの点数と「多面的・総合的な評価のための申告書」を考慮して最終合格者を決定します。
先 端 材 料 理 工 学 科	出願書類・小論文・面接による第１段階選抜を実施し、第１段階選抜合格者の中から、大学入学共通テストの点数を考慮して最終合格者を決定します。

（参考）

● 機械工学科においては、「多面的・総合的な評価のための申告書」及び「面接用事前レポート」に基づいたプレゼンテーションと質疑応答を通じて、発表における説明力、論理性、受答えの的確性を評価します。

● メカトロニクス工学科においては、小論文では科学・技術に関連した内容について論理的思考を評価します。面接では、「多面的・総合的な評価のための申告書」、「志願者評価書」を参考に、論理的思考、回答の明確さ・正確さ（コミュニケーション能力）及び意欲・適性を評価します。

● 電気電子工学科においては、電気電子工学に関連する小論文及び面接、「多面的・総合的な評価のための申告書」、「調査書」を併せて、数学と物理の基礎学力、論理的な説明力、人物像、適性を総合的に評価します。

● コンピュータ理工学科においては、「調査書」については、基礎的学力を備えているかを判定するとともに、課外活動や取得した資格等により向上心や主体性などを評価します。「多面的・総合的な評価のための申告書」では、本学のアドミッションポリシーへの理解、向上心や主体性、協働性などを重視するとともに、本学科で学ぶ意欲や、将来への展望が明確であるかを確認します。

● 土木環境工学科においては、小論文は科学・技術に関する講義を聴き、その内容に関する設問に解答していただきます。面接は志望動機、学習意欲及び適性を問う質疑に応答していただきます。

● 応用化学科においては、第１段階選抜は志望動機及び適性を評価します。

● 先端材料理工学科においては、小論文は数学・物理・化学・英語の素養に関する設問への回答を含みます。面接は志望動機・学習意欲及び適性等を総合的に評価します。

【配点】

		大学入学共通テスト・第１段階選抜等の配点等												
	試験の区分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	小論文	面接	調査書	多面的・総合的な評価のための申告書	志願者評価書	面接用事前レポート	配点合計
機械工学科	大学入学共通テスト	100		50	150	150	150 (注)2							600
	第１段階選抜								600	(注)4	(注)4		(注)4	600
	計	100		50	150	150	150		600					1200
メカトロニクス工学科	大学入学共通テスト	200		100	200	200	200 (注)2							900
	第１段階選抜							200	200 (注)5	適・否	面接に含む	面接に含む		400
	計	200		100	200	200	200	200	200					1300
電気電子工学科	大学入学共通テスト	(200)			(200)	(200)	(200) (注)2							(800) (注)6(1)
	第１段階選抜							200	150	50	(注)6(2)			400
	計							200	150	50				400
コンピュータ理工学科 数学重視型(注)7	大学入学共通テスト				200									200 (注)8
	第１段階選抜									第１段階選抜に活用する				
	計				200									200
コンピュータ理工学科 理科重視型(注)7	大学入学共通テスト					200								200 (注)8
	第１段階選抜									第１段階選抜に活用する				
	計					200								200
コンピュータ理工学科 英数理バランス型(注)7	大学入学共通テスト				200	200	200 (注)2							600 (注)8
	第１段階選抜									第１段階選抜に活用する				
	計				200	200	200							600
コンピュータ理工学科 言語力重視型(注)7	大学入学共通テスト	400			200		400 (注)2							1000 (注)8
	第１段階選抜									第１段階選抜に活用する				
	計	400			200		400							1000
土木環境工学科	大学入学共通テスト	200		100	300	300	200 (注)2							1100
	第１段階選抜							300	150	50	(注)9	(注)9		500
	計	200		100	300	300	200	300	150	50				1600
応用化学科	大学入学共通テスト				「数Ⅰ・数A」「数Ⅱ・数B」各50 (注)10	化100 (注)11 物50 (注)10	50 (注)2 (注)10							200 (注)10
	第１段階選抜								(注)12	(注)12				
	多面的・総合的な評価のための申告書										20 (注)12			20
	計				200						20			220
先端材料理工学科	大学入学共通テスト	200		100	200	200	200 (注)2							900 (注)8
	第１段階選抜							40	60	(注)13	(注)13	(注)13		100
	計	200		100	200	200	200	40	60					1000

（注）

1　大学入学共通テストの利用教科・科目等

大学入学共通テストの「地歴」、「公民」のうちから１科目のところ２科目受験した場合は、「第１解答科目」の得点をその成績とします。

2　大学入学共通テスト・第１段階選抜等の配点等

大学入学共通テストにおける英語のリスニングの成績は全学科で利用します。利用にあたっては、工学部ではリーディングを 160 点満点に、リスニングを 40 点満点に換算し、表中（Ｐ15）「大学入学共通テスト・第１段階選抜等の配点等」欄に従い換算した点数を利用します。なお、他の外国語の得点は、表中「大学入学共通テスト・第１段階選抜等の配点等」欄に従い換算した点数を利用します。

3　第１段階選抜等の全てを受験した場合のみ選考の対象となります。
4　「調査書」や「多面的・総合的な評価のための申告書」、「面接用事前レポート」は面接時の参考として利用します。
5　「多面的・総合的な評価のための申告書」及び「志願者評価書」に基づき面接を実施します。
6　（１）電気電子工学科では、第１段階選抜を重視し、大学入学共通テストは基礎学力の参考として利用します。
　（２）電気電子工学科では、「多面的・総合的な評価のための申告書」を第１段階選抜の面接試験において参考にします。
7　コンピュータ理工学科では４つの型のうち少なくとも１つの型に合致する科目を受験する必要があります。ただし、志願者が型を選ぶことはなく、大学入学共通テストで型に合致する科目を受験することで、該当する型の選抜対象となります。複数の型の選抜対象となり得ます。
　なお、４つの型の配点合計の違いは合否の判定には影響を及ぼしません。また、ある型の合否によって、他の型での合否が左右されることはありません。
8　大学入学共通テストの得点に合格最低基準点を設けます。
9　「多面的・総合的な評価のための申告書」及び「志願者評価書」は面接時の参考として利用します。
10　応用化学科では、「数学Ⅰ・数学Ａ」、「数学Ⅱ・数学Ｂ」、「物理」、「英語」の４科目をそれぞれ 50 点満点に換算し、受験した科目のうち得点のより高い２科目を大学側で採用します。（志願者の選択は要しません。）これに「化学」得点を加え合計 200 点満点に換算した得点を最終選抜に利用します。
11　大学入学共通テストの「化学」の得点が大学入試センターより発表される平均点以上である場合のみ選考の対象となります。
12　第１段階選抜として面接、並びに「調査書」をそれぞれ評価し、合格基準を満たしていると判定した受験生の中から、大学入学共通テストの成績と「多面的・総合的な評価のための申告書」の評価に基づき合格者を決定します。総合型選抜Ⅰの受験者は面接を免除する場合があります。
13　「調査書」、「多面的・総合的な評価のための申告書」、「志願者評価書」をそれぞれ評価し、合格基準を満たしていると判定した受験生の中から、総合点に基づき合格者を決定します。

本学の令和４年度入学者選抜における大学入学共通テストの成績は、令和４年度大学入学共通テストの成績のみ利用します。

7　選抜の期日及び場所

次の表に示す期日、場所に集合した上、学科ごとに選抜考査を受けてください。

（１）選抜期日

選抜区分	期日	集合時刻
第１段階選抜	令和３年 11 月 20 日（土）	午前９時
最終選抜（合格者発表）	令和４年２月 15 日（火）	

（２）第１段階選抜集合場所

学　科	集　合　場　所
機械工学科	甲府東キャンパス　Ａ－２号館 １階　Ａ２－12 教室
メカトロニクス工学科	甲府東キャンパス　Ｔ－１号館 ２階　Ｔ１－22 教室
電気電子工学科	甲府東キャンパス　Ｂ－２号館 １階　Ｂ２－11 教室
土木環境工学科	甲府東キャンパス　Ｔ－１号館 １階　Ｔ１－11 教室
応用化学科	甲府西キャンパス　総合研究棟 １階ロビー
先端材料理工学科	甲府東キャンパス　Ｔ－１号館 ３階　Ｔ１－32 教室

※第１段階選抜当日は、受験票のほか、筆記用具等（鉛筆（黒のＨＢ又はＢ）、シャープペンシル（黒のＨＢ又はＢ）、消しゴム、定規、コンパス、鉛筆削り）を持参してください。
遅刻した場合の取り扱い及び試験終了予定時刻（出願者数によって変わります）は、受験票発送の際にお知らせします。
※コンピュータ理工学科の第１段階選抜は出願時に提出した出願書類による書類審査です。来学の必要はありません。
※応用化学科の第１段階選抜において、応用化学科の総合型選抜Ⅰの受験者は面接を免除する場合があります。面接免除者は来学の必要はありません。面接免除の通知は、受験票発送の際にお知らせします。
※最終選抜は、全学科とも来学の必要はありません。

【入学試験における感染症対応について】

本学では、入学試験当日において、学校保健安全法で出席の停止が定められている感染症（新型コロナウイルス感染症、インフルエンザ、麻疹、水痘など）に罹患して治癒していない場合は、他の受験生や監督者等への感染のおそれがあるため受験できません。

なお、受験できない場合の追・再試験や別室受験等の特別措置は原則として行いません。また、入学検定料も返還しませんので、万全の態勢で試験当日を迎えられるよう、体調管理には十分注意してください。試験当日までに、「受験生に対する要請事項」を熟読してください。

ただし、令和４年度入試においては、新型コロナウイルス感染症の罹患者等に対する追試験を実施しますので、詳細は、「新型コロナウイルス感染症罹患者等に対する追試験の実施について」（別途本学ホームページに掲載します。）を確認してください。

【受験生に対する要請事項】

①感染防止のための注意事項

日頃から感染防止について心がけるとともに、朝などに体温測定を行い、体調の変化の有無を確認してください。

（参考）受験生のみなさんへ ～新型コロナウイルス感染防止のための注意事項～

https://www.mext.go.jp/content/20201218-mext_daigakuc02-000005144_1.pdf

②医療機関での受診

試験日の２週間程度前から発熱・咳等の症状がある受験生は、あらかじめ医療機関で受診してください。

③受験できない方

新型コロナウイルス感染症に罹患し、試験日に入院中又は自宅や宿泊施設において療養中の方や、試験日直前に保健所等から濃厚接触者に該当するとされた方は受験できません。ただし、発熱・咳等の症状がない無症状の濃厚接触者のうち、次の条件全てに該当する場合は、本試験の受験を認めます（別室受験となります）。

１）初期スクリーニング（自治体によるＰＣＲ検査及び検疫所における抗原定量検査）の結果、陰性であること（結果が判明するまでは本試験を受験できませんので、その場合は追試験を申請してください）

２）受験当日も無症状であること

３）公共の交通機関（電車、バス、タクシー、航空機（国内線）、旅客船等）を利用せず、かつ、人が密集する場所を避けて試験場に来られること

※海外から日本に入国して受験する場合、受験生は防疫対策として要請される事項に基づき行動することから、入国後の待機期間中は受験できません。

④受験の取り止め

試験日の前から継続して発熱・咳等の症状のある受験生は、本学が指定する期限までに追試験受験の申請手続きを行い、当初予定していた本試験ではなく追試験を受験してください。

⑤試験当日における対応

発熱・咳等の症状のある受験生は、試験当日の検温で、37.5度以上の熱がある場合は受験を取り止め、その日のうちに追試験受験の申請手続きを行い、追試験を受験してください。また、37.5度までの熱はないものの、発熱や咳等の症状のある受験生は、その旨を試験監督者等に申し出てください。

なお、症状の有無にかかわらず、各自マスクを持参し、試験場では昼食時以外は常に着用してください（何らかの事情によりマスクの着用が困難な場合は、別室受験となります。「４　受験上及び修学上の配慮を必要とする入学志願者との事前相談」に基づき、事前に教学支援部入試課へ連絡してください。）。また、休憩時間や昼食時等における他者との接触・会話を極力控えてください。

⑥試験当日の服装、昼食

試験当日、試験室の換気のため窓の開放等を行う時間帯があるため、暖かい上着などを持参してく

ださい。また、試験会場の食堂（大学会館、厚生会館）は営業しませんので、昼食は持参し、自席で食事をとってください。食事を取り終えた後は、速やかにマスクを着用してください。

⑦予防接種

他の疾患の罹患等のリスクを減らすため、各自の判断において予防接種を受けておくことが望まれます。

⑧「新しい生活様式」等の実践

日頃から、「三つの密」の回避や、「人と人との距離の確保」、「マスクの着用」、「手洗いなどの手指衛生」をはじめとした基本的な感染症対策の徹底を行うとともに、バランスのとれた食事、適度な運動、休養、睡眠など、体調管理に心がけてください。

⑨新型コロナウイルス接触確認アプリ（COCOA）のダウンロード

「新型コロナウイルス接触確認アプリ（COCOA : COVID-19 Contact Confirming Applicationn）は、利用者が新型コロナウイルス感染症の陽性者と接触した可能性がある場合に通知を受けることができるものであり、その後の検査の受診など保健所のサポートを早く受けることができることから、これを活用することが望まれます（地域独自のＱＲコード等による追跡システムがある場合は、その利用も望まれます。）。なお、通知を受けたことが直ちに濃厚接触者であることを意味するものではないことに留意すること。

※新型コロナウイルス感染症予防の観点から受験生以外の方は入構できません。（保護者等の控室も設置しません。）

８　不正行為等に対する措置

次のことをすると不正行為となります。不正行為と認定された場合は、その場で受験の中止と退室を指示され、それ以後の受験はできなくなります。

（１）Web 出願情報、出願書類の記載事項に故意に虚偽の記入（本人以外の顔写真画像を登録することなど）をすること。
（２）試験時間中に、携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末、電子辞書、IC レコーダー等の電子機器類を使用すること。
（３）試験時間中に携帯電話や時計等の音（着信・アラーム・振動音など）を長時間鳴らすなど、試験の進行に影響を与えること。
（４）試験場において他の受験生の迷惑となる行為をすること。
（５）試験場において試験監督者等の指示に従わないこと。
（６）その他、試験の公平性を損なうおそれのある行為をすること。

９　合格者の発表等

（１）第１段階選抜結果は、令和３年 11 月 29 日（月）に、志願者本人及び高等学校長宛に発送します。なお、電話等による合否の問い合わせには応じられませんが、12 月３日（金）までに通知が到着しない場合は、12 月６日（月）に教学支援部入試課へ照会してください。
（２）最終選抜合格者の発表（最終合格発表）

日　　時：令和４年２月15日（火）　17 時頃

発表方法：甲府東キャンパスＡ－２号館正面入口に掲示するとともに、本学ホームページ（https://www.yamanashi.ac.jp/examination_list）にも掲載します。**（電話等による合否や受験番号の照会には応じられません。）**

合格者には、合格者発表当日に合格通知書を発送し、併せて高等学校長にも志願者の合否を文書で通知します。最終的な確認は合格通知書で行ってください。

合格者に対して、入学前教育を実施する場合があります。

（注）山梨大学では、合否電報の受け付けは一切行っておりません。また、そういった行為を団体・個人に委託することもありませんので、これに関するトラブル等が発生した場合、本学は責任を負いません。

10　一般選抜への出願

本学の総合型選抜Ⅱに不合格となった場合に備えて、本学を含む国立大学の「前期日程」から１つ、「後期日程」から１つ、合計２つの大学・学部に出願することができます。

なお、本学を受験する場合は、大学入学共通テストを受験した後に、本学学生募集要項（一般選抜）に従って出願することになりますが、入学検定料の免除はありません。

11　入学手続

（１）入学手続期間

令和４年２月16日（水）～２月21日（月）

【留意事項】

①入学手続関係書類は、合格通知書とともに発送します。

②合格者は、上記の入学手続期間中に必ず入学手続を行ってください。

③入学手続を完了したときは、本学及び他の国公立大学・学部（※ 独自日程で入学者選抜試験を行う公立大学・学部を除く。以下同じ。）の一般選抜を受験しても合格者となりません。

※公立大学協会ホームページ（http://www.kodaikyo.org/nyushi）参照

④本学の総合型選抜は、「合格した場合入学することを確約できる方」を出願資格としていることから、原則として入学辞退は認められません。なお、特別の事情により入学を辞退しようとするときは、**「入学辞退願」**を本学へ提出し、本学学長から**令和４年２月21日（月）16時30分**までに入学辞退許可を得なければなりません。この手続を行わない場合、本学及び他の国公立大学・学部の一般選抜を受験しても合格者となりませんので、入学又は入学辞退のいずれの手続も行わないままとすることがないように注意してください。

⑤入学手続を完了したときは、これを取り消して、他の国公立大学・学部へ入学手続を行うことは認められません。

⑥入学手続には、本学の受験票及び大学入学共通テスト受験票の提出が必要となりますので、試験終了後も大切に保管してください。

（２）入学料

282,000 円（予定）

・入学料は、入学時に改定されることがあります。また、既納の入学料はいかなる理由があっても返還しません。

・入学料の免除又は徴収猶予の申請を希望する方は、合格者に送付する入学手続関係書類を参照してください。

12　授 業 料

前期分：267,900 円［年額：535,800 円］（予定）

・入学時及び在学中に授業料の改定が行われた場合には、改定時から新たな授業料が適用されます。

・授業料は原則、口座引き落としとなっています。手続については、別途案内します。

・授業料の免除又は徴収猶予の申請を希望する方は、合格者に送付する入学手続関係書類を参照してください。

13　その他の経費

（1）「学生保険」保険料

授業中や課外活動等、学生生活における万一の事故及びインターンシップ・教育実習等での不慮の事故により賠償責任が発生した場合などに対応できる「学生保険」への全員加入を大学の方針としております。

本学で取り扱っている「学生保険」は各種あります。保険の種類及び加入方法につきましては、それぞれ保険料を含め、別途案内します。

（2）その他

上記保険料のほかに後援会費、同窓会費及び学友会費等を含めて、50,000 円（4 年間分）程度の経費が必要です。（教材費等は含みません。）

なお、これらの経費については変更することがあります。

14　留意事項

（1）大学入学共通テストにおいて、本学が指定した教科・科目を受験していない方は、大学入学共通テスト受験科目の不足等による無資格者となり、最終選抜を受けられません。出願に当たって「総合型選抜Ⅱに課される大学入学共通テストの利用教科･科目等」を必ず確認してください。

（2）合格者が、入学手続完了後、当該高等学校を卒業できなかった場合には、入学許可を取り消します。

（3）Web 出願サイトの登録において、「志願者連絡先」には、出願時から入学手続完了時までの間、本学からの照会･通知等を確実に受信できる住所･電話番号を登録してください。なお、出願後、「志願者連絡先」に変更があった場合は、速やかに教学支援部入試課へ連絡してください。

15　個人情報の取扱いについて

本学では、「独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律」及び「山梨大学個人情報保護規則」に基づいて、次のとおり取り扱います。

（1）出願書類等に記載された個人情報（成績判定に関する情報を含む）は、①入学者選抜（出願処理、選抜実施）、②合格発表、③入学手続業務、④統計調査、⑤今後の入学者選抜方法検討や志願動向の分析、大学教育の改善等に関する調査・研究を行うために利用します。なお、これらの調査・分析結果を公表する際は、個人が特定されないような形に処理します。

（2）入学者については、知り得た個人情報を①教務関係（学籍、修学指導等）、②学生支援関係（健康管理、就職支援、授業料免除・奨学金申請等）、③授業料徴収に関する業務を行うために利用します。

（3）国公立大学の分離・分割方式による合格及び追加合格決定業務を円滑に行うため、氏名、高等学校等コード、大学入学共通テストの受験番号に限り、合否及び入学手続等に関する個人情報が、独立行政法人大学入試センター及び併願先の国公立大学に送達されます。

なお、上記業務での利用に当たり、一部の業務を本学から当該業務委託を受けた業者（以下、「受託業者」という。）において行うことがあります。この場合、受託業者に対して、委託した業務を遂行するために必要となる範囲で、知り得た個人情報の全部又は一部を提供します。

※個人情報及びプライバシー情報保護のため、本選抜実施において取得した個人情報は、それが記載された書類及びデータ自体のいずれの形においても、厳重に秘匿され、上記の目的以外での利用は行わないことに加え、法令等により開示を求められた場合等を除き、第三者に開示することもありません。

《大学・学部・学科等紹介》

関連ホームページの紹介

山梨大学（https://www.yamanashi.ac.jp/）

■**入試情報**（https://www.yamanashi.ac.jp/admission）
山梨大学の入試情報について掲載しています。
過去問題の公表も行っています。

■**進路・就職支援**（https://www.yamanashi.ac.jp/career_placement）
取得可能な免許・資格、卒業後の進路状況や進路支援について紹介しています。

工学部・大学院医工農学総合教育部（https://www.eng.yamanashi.ac.jp/）
学部・学科についての詳細な紹介などを掲載しています。

機械工学科（http://www.me2.yamanashi.ac.jp/）

メカトロニクス工学科（https://www.jm.yamanashi.ac.jp/）

電気電子工学科（http://www.ee.yamanashi.ac.jp/）

コンピュータ理工学科（http://www.cse.yamanashi.ac.jp/）

土木環境工学科（http://www.ce.yamanashi.ac.jp/）

応用化学科（http://www.chem.yamanashi.ac.jp/）

先端材料理工学科（http://www.szr.yamanashi.ac.jp/）

各研究センター

▼大学院総合研究部附属クリスタル科学研究センター（https://www.inorg.yamanashi.ac.jp/）

▼大学院総合研究部附属国際流域環境研究センター（http://www.icre.yamanashi.ac.jp/）

▼クリーンエネルギー研究センター（http://www.clean.yamanashi.ac.jp/）

▼地域防災・マネジメント研究センター（http://desire.yamanashi.ac.jp/）

Web出願利用ガイド

出願期間内に「Web出願情報の登録」と「入学検定料の支払い」と「出願書類の印刷・作成・提出」の全てを完了してください。いずれか一つでも完了していない場合は、出願を受理することはできません。

STEP 1 Web出願の事前準備

❶インターネットに接続されたパソコン・スマートフォン・タブレットなど
OSやブラウザは最新の状態にアップデートしておいてください。また、PDFを表示するために、アドビ社のAdobe Readerの最新版をダウンロード(無償)し、最新の状態にアップデートしておいてください。

❷利用可能なメールアドレス
パソコンやスマートフォン等で利用可能なメールアドレスを用意してください。設定で「@yamanashi.ac.jp」からの受信を許可し、迷惑メールに振り分けられないようにしてください。

❸A４サイズの印刷が可能なプリンター
出願書類を印刷する際に必要です。自宅にプリンターがない場合、学校や図書館などの公共施設のプリンターやコンビニエンスストアのプリントサービスを利用してください。

❹事前に準備できる出願書類
「調査書」や「志願者評価書」などは発行に時間がかかる場合がありますので、早めに高等学校等に申請手続をしてください。

❺市販の角形２号封筒・郵便切手※
封筒は出願書類の送付に必要です。郵便切手は各募集要項に記載の金額を過不足なく用意してください。
※切手の代金は入試区分によって違いますので、各募集要項で確認してください

❻顔写真
３ヶ月以内に撮影した正面上半身、脱帽、無背景、フルカラー、縦４：横３(縦800ピクセル×横600ピクセル以上)、JPEG形式の写真を用意してください。

【適切な顔写真の例】

STEP 2 メールアドレスの登録

インターネットで「山梨大学　Web出願」で検索または下のQRコードからWeb出願サイトにアクセスし、画面右上の「新規利用者登録」からメールアドレスを登録してください。登録後すぐにシステムからメールが届きますので、本文に記載されているURLより30分以内に次の手順に進んでください。

STEP 3 利用者情報の登録　※いつでも登録が可能です。

画面の案内に従って個人情報(氏名、住所、電話番号、生年月日など)を登録してください。

STEP 4 出願情報の登録　※出願期間中のみ登録が可能です。

画面の案内に従って出願情報(入試区分、志望学科等、受験科目、顔写真など)を登録してください。

山梨大学入試
Web出願サイト
https://syutugan.yamanashi.ac.jp/

STEP 5 入学検定料の支払い

Web出願サイト画面右上の「マイページ」をクリックし、「検定料の支払い」から**❶クレジットカード、❷コンビニエンスストア、❸金融機関ATM(Pay-easy)、❹ネットバンキング**のいずれかの支払い方法を選択し、入学検定料をお支払いください。クレジットカード以外の支払い方法は入金が確認されるまで２時間程度かかる場合があります。

STEP 6 出願書類の印刷・作成・提出

Web出願サイト画面右上の「マイページ」をクリックし、「出願書類印刷」から必要な書類を印刷・作成してください。各自で用意した角形２号封筒に「封筒貼付票」を貼付し、「出願書類等チェックリスト」(提出不要)で出願書類が全て揃っているか確認後、山梨大学入試課に提出してください。
※出願書類の提出方法は各募集要項で確認してください。

出願書類が受理されたら出願完了です。受験票の到着をお待ちください。

Web出願に関する問い合わせ
山梨大学入試課　☎055-220-8046
✉web-nyushi-tr@yamanashi.ac.jp

※システム改修等により、登録手順や利用方法が変更になる場合があります。

本学所定の様式
（参考掲載）

様式１　多面的・総合的な評価のための申告書

様式２　志願者評価書

様式３　面接用事前レポート

※　本様式１～３は、出願期間前から以下のＵＲＬよりダウンロードできます。
本学ホームページ ＞ 入試情報 ＞ 学部入試 ＞ 募集要項
https://www.yamanashi.ac.jp/admission/291

多面的・総合的な評価のための申告書　記述要領
【工学部 総合型選抜Ⅱ】

本申告書は、本学への入学志願者（皆さん）に関する多面的な情報が提供されることを目的としていると同時に、皆さんが大学で学ぶ目的を見つめなおし、自らの進路について主体的に考える機会を増やすことで、大学での学修への意欲を高めるために課すものです。

また、本申告書だけでなく、調査書、大学入学共通テスト、第１段階選抜等の様々な観点から総合的に評価を行うための基礎資料として活用します。

【心がけてほしいこと】

・記述内容について、その他の提出書類と相違していないこと

＊虚偽の記述がある場合は、入学許可を取り消すことがあります。

また、内容に重複があってもかまいませんが、補足、補完する内容であること

【記述の際の注意事項】

・（１）（２）については、学校に限らずこれまでの活動や経験をもとに記述してください。
・記述については自筆、パソコン入力を問いません。
・文字色は黒又は青とし、自筆の場合はボールペンで楷書、数字は算用数字を用いてください。
・自筆の記述事項を訂正する場合は、訂正する箇所に二本線を引き訂正印を押してください。
・修正液類の使用や紙面の削りとりはしないでください。
・図表等を用いることも可能です。
・Ａ４用紙１枚とし、その表（おもて）面に（１）（２）を、その裏面に（３）（４）を簡潔にまとめてください。
・原本を提出してください。（コピー不可）

【工学部総合型選抜Ⅱ】

様式１

多面的・総合的な評価のための申告書

志望学科	氏名	高等学校等名	＊受験番号 この欄は記入不要

この申告書は、入試選抜における多面的・総合的な評価を実施するためのものです。

志望学科のアドミッションポリシーを参考にして記述してください。

高校入学（又は中等教育学校後期課程）から現在までの諸活動の記録とそこから学んだこと
（１）これまでの学校内外の活動（ホームルーム内での活動、生徒会活動、部活動、ボランティア活動、留学・海外経験等）の取組、資格の取得など、主な活動実績をできるだけ具体的に記述してください。 （２）上記（１）から学んだことを記述してください。

志望理由と、入学後に学びたい内容とその計画、大学卒業後を見据えた目標など

（3）上記学科を志望する理由を具体的かつ明確に記述してください。

（4）大学では何を学び、それを卒業後の人生でどう活かしたいと考えているか記述してください。

【工学部総合型選抜Ⅱ】
様式２

志願者評価書

山梨大学学長　殿

学校名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

学校長名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿印

下記の者を、貴学の総合型選抜Ⅱ志願者として責任をもって評価します。

志願者氏名など

氏名	生年月日 年　月　日	令和　年　月 卒業 ・ 卒業見込み

志望学部など

志望学部　学部	志望学科　学科

【「知識・技能」に関する所見】

【「思考力・判断力・表現力」に関する所見】

【「主体性をもって多様な人々と協働して学ぶ態度」に関する所見】

求める学生像（アドミッションポリシー）からみて、志願者に関して特記事項があれば具体的に記入してください。

記載者：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿（志願者との関係）＿＿＿＿＿＿＿＿

【工学部総合型選抜Ⅱ】

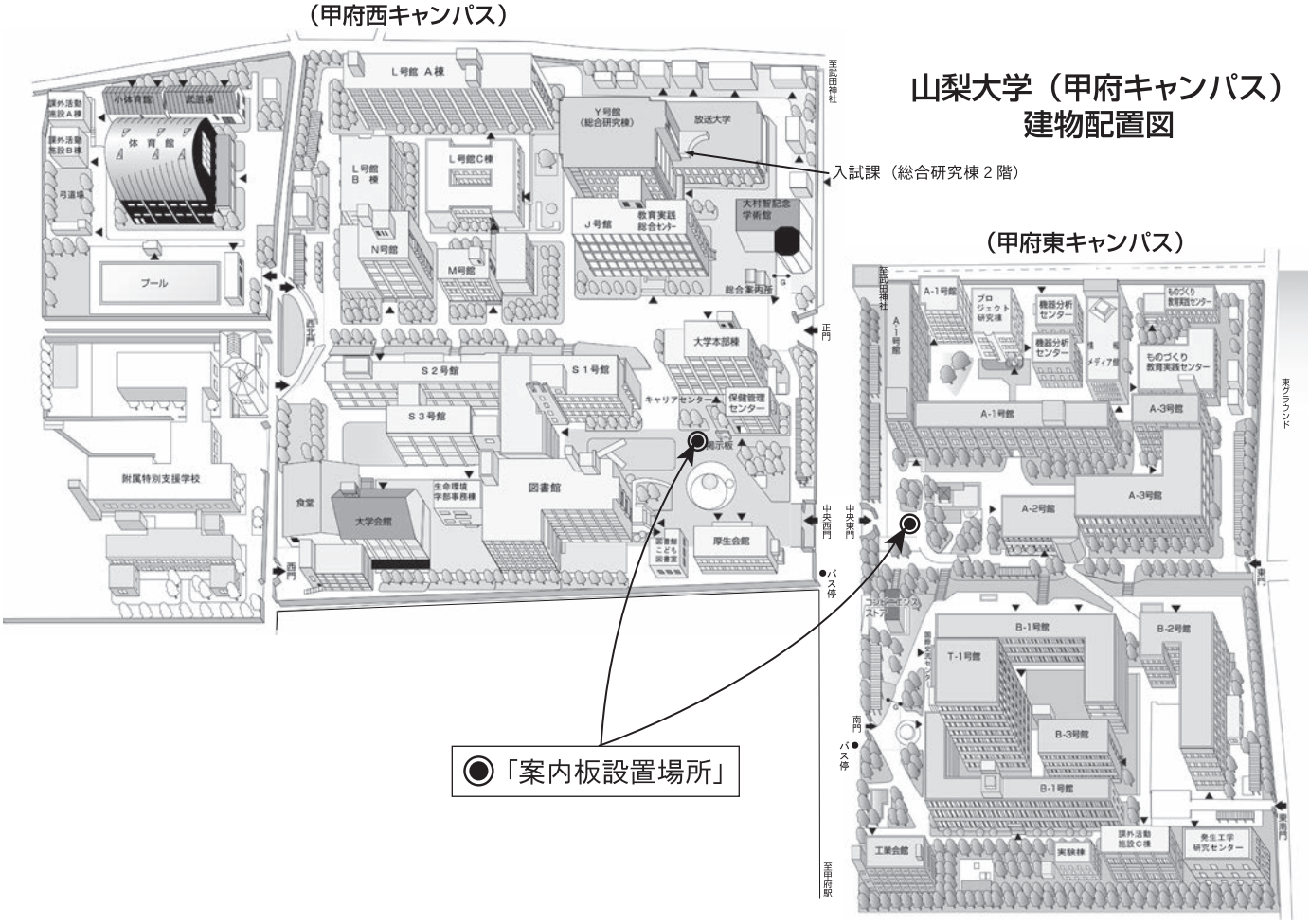
様式３

面接用事前レポート　【工学部機械工学科　総合型選抜Ⅱ】

氏名	高等学校等名	受験番号（受験票に記載）

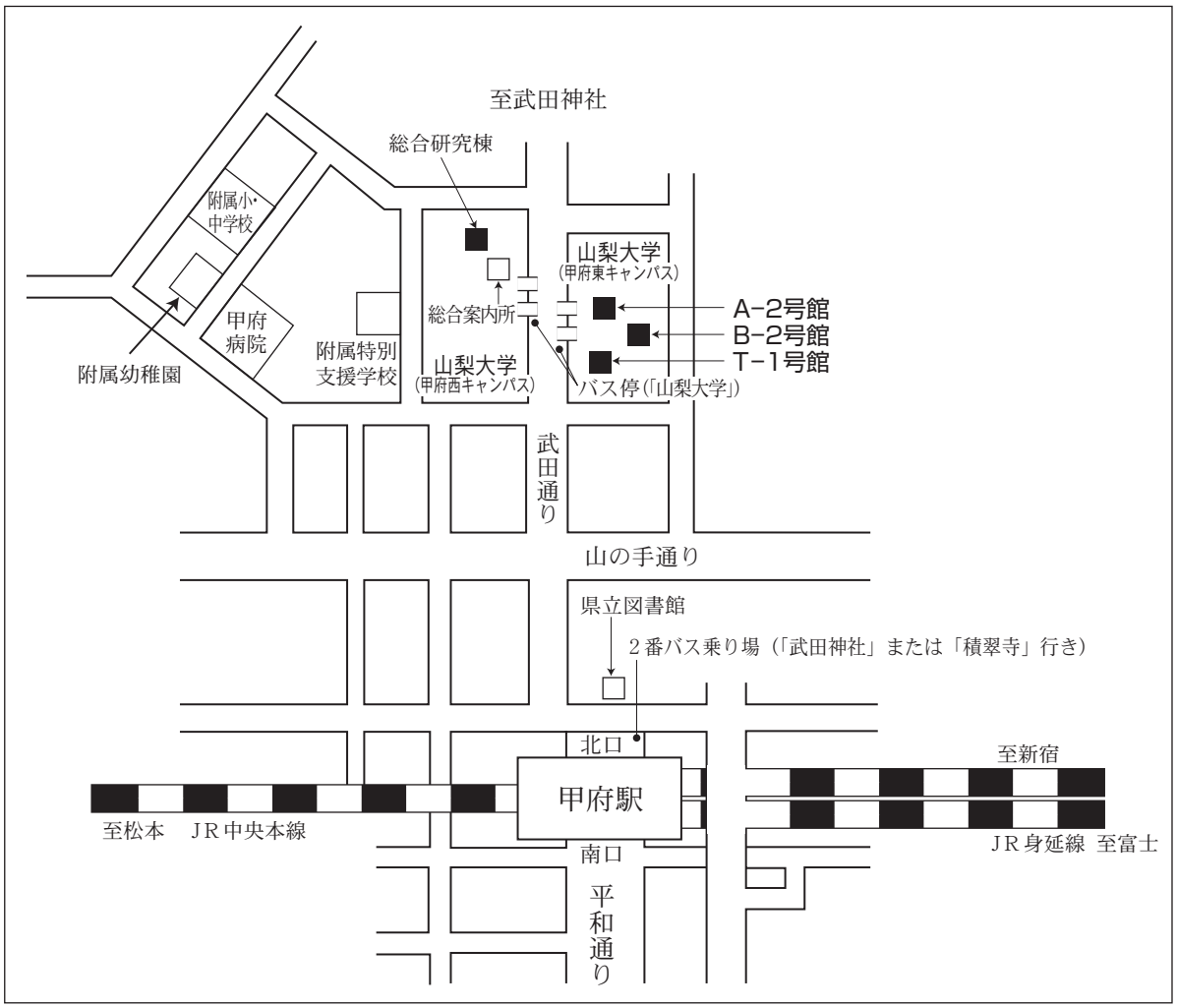
● 受験票に同封の面接用事前レポート課題について記入してください。

山梨大学（甲府キャンパス）建物配置図



山梨大学（甲府キャンパス）周辺図

ＪＲ甲府駅下車、北口から徒歩約15分
ＪＲ甲府駅下車、北口からバス（「武田神社」又は「積翠寺」行き）で約５分「山梨大学」下車



構内には駐車場がありませんので、電車、バス等の公共交通機関を利用してください。